

## 令和 2 年度コロナ感染症関連施策（補正予算）

## 農林水産物の需要喚起

【4月補正】	「とやまの食」ネット販売等緊急支援事業	1
	花を飾ってうるおい創出事業	2
	和牛肉等販売促進緊急対策事業	3
【6月補正】	加工業務用野菜安定出荷支援事業	4
	輸出市場変化対応緊急支援事業	5
【9月補正】	Go To Eat 県産食材活用事業	6
	「富富富」リモートPR事業	7
	大規模園芸施設整備に係る支援	8

## 労働力不足への対応

【4月補正】	農業用ドローン普及・導入緊急事業	9
【6月補正】	畜産スマート農業推進事業	10
【9月補正】	中山間地域におけるスマート農業推進モデル事業	11
	オンライン「とやまで農林水産業」就業推進事業	12

## 「新たな生活様式」の定着に向けた取組み

【9月補正】	大規模食イベント感染防止対策モデル事業	13
	とやま都市農村リモート交流事業	14

## その他

【4月補正】	「富富富」で若者応援事業	15
--------	--------------	----

## 「とやまの食」ネット販売等緊急支援事業（4月補正）

農林水産企画課

## 1 事業の趣旨

新型コロナウイルスの拡大防止の観点から外出の自粛を余儀なくされている県内外の消費者に、家庭内で富山県産の農林水産物やその加工品を使った料理を味わってもらうため、インターネット販売により、宅配事業に取り組む県内事業者のホームページの開設・リニューアルや商品開発等を支援（補助）する。

## 2 補助対象事業者

インターネット販売の方法により、県産の農林水産物やその加工品（食品に限る。）を県内外の消費者に販売する中小事業者、農事組合法人等

## 3 募集方法

県ホームページによる公募（5件程度）

## 4 対象事業及び対象経費

対象事業	主な対象経費
(1) ホームページの開設・リニューアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ インターネット販売を開始（または拡充）するためのホームページの開設（リニューアル）に要する委託費</li> <li>○ 商品紹介に係る写真撮影費、文章作成費</li> <li>○ ホームページの保守管理費（初年度のみ） など</li> </ul>
(2) 商品開発等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭で料理できる新商品、セット商品等の開発に係るコンサルタント費、試作材料費</li> <li>○ 農林水産物を食材とした料理レシピの作成費 など</li> </ul>

## 5 補助率等

(1) 補助率 3分の2（小規模事業者等にあつては、4分の3）

(2) 補助上限額 1,000千円

小規模事業者（商業・サービス業を営む企業にあつては従業者数5人以下、その他の業種の企業にあつては従業者数20人以下）及び従業者5人以下の農事組合法人等

## 6 要求額

5,000千円（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用）

（積算根拠）

1,500千円/事業者（標準事業費）× 2/3（補助率）× 5事業者

（内訳）

①ホームページの開設等 1,000千円＋②商品開発等 500千円を想定

## 新 花を飾ってうるおい創出事業 (6,000 千円)

農産食品課

### 1 背景・目的

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各種イベント等が中止となり、花きの消費量が減少している。

そこで、公共機関や交通拠点等での花の展示や家庭での新たな需要を創出するための宅配商品開発、販売促進の支援を行い、花きの消費拡大を図るとともに、県民の日常生活にうるおいを与える。

### 2 事業概要

#### (1) 事業内容

- ①公共施設等において今後出荷される切花や鉢花等を飾る経費等に補助
- ②宅配商品などの開発やホームページ等での販売促進等の取組に補助

#### (2) 事業主体

- ①富山フラワーネットワーク
- ②花の小売業者及び生産者地区球根組合

#### (3) 事業費及び補助率

- ①事業費 6,000 千円 (県費 1,000 千円)  
補助率 1/6
- ②事業費 1,500 千円 (県費 5,000 千円)  
補助率 2/3、3/4 (小売業者 2/3、3/4、生産者 3/4、補助上限額 1,000 千円)  
× 5 事業者

#### (4) 県予算額

6,000 千円

### 3 事業実施期間

令和 2 年度

## 和牛肉等販売促進緊急対策事業（273,100千円）

農業技術課

### 1 概要

国では、インバウンド需要や外食需要の減少により、在庫が急激に積み上がっている国産和牛肉等の需要喚起により、生産面への影響を回避するとともに、児童・生徒等への食育を通じた農林水産業についての理解醸成を目的として、希望のある学校給食実施校に対し、国産和牛肉等の提供及び食育教材の配布を内容とする経済対策が講じられた。

このため、本県でも、国の事業を活用して、希望のある学校給食実施校での富山県産和牛肉等の提供への支援及び食育教材の配布を実施する。

### 2 内容：

#### (1) 県内小・中学校等の学校給食に県産和牛肉を提供

①事業主体：富山県和牛肉等販売促進協議会

（構成員：県、県肉用牛協会、全農とやま、(株)富山食肉総合センター）

②対 象：小・中学校及び特別支援学校（267校、86,700食/回）

・7月から来年2月までの間で、順次、提供の予定

③提供量：26,010kg（1人当たり上限100g×3回以内）

・各校で工夫を凝らし栄養バランスに配慮したメニューを提供

#### (2) 食育教材の作成・配布など食育活動の実施

①事業主体：県、富山県和牛肉等販売促進協議会

②内容（案）：とやま牛の生産流通等を印刷したクリアファイルや牛肉部位がわかる牛のペーパークラフト、牛肉の生産から流通・販売までを紹介したDVDを配布し、各学校の栄養士等を通じて食育を実施

### 3 予算額：

273,100千円（国10/10）



## 新 加工業務用野菜安定出荷支援事業（6,800千円）

農産食品課

### 1 背景・目的

新型コロナウイルス感染拡大の影響による飲食店等の外食産業の休業や時短に伴い、加工業務用野菜の需要量が減少し、本県産のたまねぎやキャベツの加工業者との販売契約が難しくなっている。

このため、新たな契約取引の拡大などの販売促進が急務であり、冷蔵保管や販売促進活動等に係る経費に対して支援を行い、加工業務用野菜の安定出荷と生産者の経営安定を図る。

### 2 事業内容

加工業務用野菜の安定出荷に向けた冷蔵保管や販売促進活動を支援

#### (1) 事業主体

全農とやま、農協

#### (2) 補助対象経費

①加工業務用野菜の出荷調整のための冷蔵保管に係る経費

②新たな契約取引拡大のための販売促進活動に係る経費

#### (3) 予算額、補助率

・ 予算額 6,800千円

・ 補助率 1/2

### 3 事業実施期間

令和2年度

## 輸出市場変化対応緊急支援事業の概要

### 1 事業名 輸出市場変化対応緊急支援事業

- ・通年醸造できることが強みの酒蔵
- ・通年醸造の安定化に向け、とやま醸造・発酵オープンラボを活用した醸造・分析試験を実施

### 2 事業実施主体 富美菊酒造株式会社（富山市百塚、代表取締役 羽根敬喜）

#### （事業実施主体の概要）

- 大正5年創業の酒蔵。小規模な酒蔵ではあるが、市販酒から品評会用の酒まで「すべての酒を、大吟醸と同じ造りで作る」といった最高品質の酒造りを行う。
- H28 から日本酒の輸出に取組み、R 元の輸出実績は約 6,500 千円。主な輸出先は、台湾、香港、シンガポール、韓国。
- 特別限定酒ブランド「羽根屋」は、世界規模の品評会での受賞歴を有し、ANA 国際線ビジネスクラスに採用されている。海外市場で高く評価されており、東アジアを中心に引き合いが多い。



### 3 事業内容 特注冷蔵施設（幅 8m×奥行 3.6m×高さ 3.4m）の整備 ・冷蔵機器一式、据付工事、電気工事、材料費

- ・海外の家庭向けニーズの高まりを受け、小サイズ（360 ml）の商品開発や、大吟醸スパークリング（720 ml、360 ml）の量産等に必要となる貯蔵施設

### 4 事業費 10,300 千円 （国庫補助金 5,150 千円、事業実施主体 5,150 千円）

# Go To Eat 県産食材活用促進事業の概要 (R2. 9月補正)

農林水産企画課

## 1 事業の趣旨

県内飲食店での県産食材の活用促進を図るため、Go To Eat キャンペーン登録飲食店における県産食材を使ったメニュー開発等を支援するとともに、「県産食材活用の店」を県民にPRする。

## 2 事業の内容 (全額委託)

- (1) 委託先 県内の「Go To Eat キャンペーン」食事券発行事業の受託者  
(②は、県内テレビ局に別途委託)

### (2) 委託内容

#### ① 県産食材活用メニュー開発への助成

県産食材を活用して新たなメニューを開発する飲食店に定額助成

<助成額> 使用される県産食材数に応じて支援

3万円:3種類以上、5万円:5種類以上(テイクアウトは2種類以上)、  
10万円:10種類以上(テイクアウトは5種類以上)

#### ② 県産食材活用新メニューコンテスト

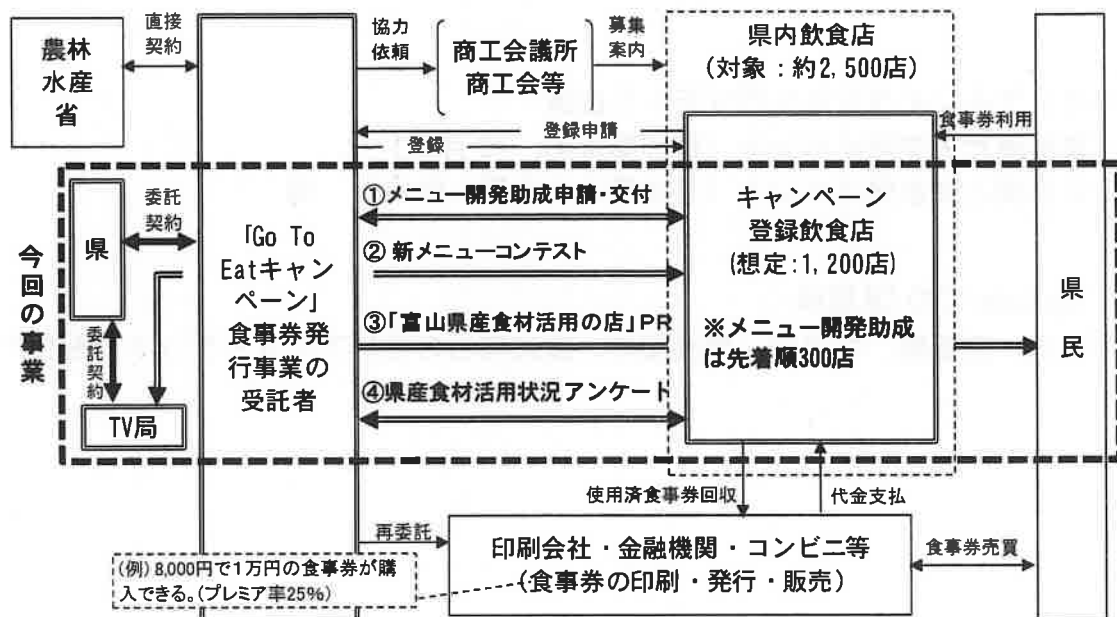
①のうち特に優秀なメニューを開発した飲食店を表彰するとともに、テレビ番組等でPR

#### ③ 「富山県産食材活用の店」PR

①の助成店舗の新メニュー等を県のホームページに掲載するなど、県産食材を活用している飲食店を利用者(県民)にアピール

#### ④ キャンペーン登録飲食店に対する県産食材活用状況アンケート

<Go To Eat キャンペーン全体及び県独自の事業スキーム>



## 3 所要額

17,000千円 (「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」活用予定)

## 「富富富」リモートPR事業について

### 1 趣 旨

新型コロナ禍においても、でも家庭向けのお米の需要が堅調であることをチャンスととらえ、「とやま食の王国大使ふふふ」にも活躍いただき、動画・SNSによる魅力発信、オンラインイベントでのPRなど、新しい形での「富富富」のPRを強化し、消費拡大を図る。

### 2 内 容

#### (1) PR動画の制作

種 類	内 容	分数	本数
①「富富富」の魅力発信	誕生エピソードやおいしさの特徴など	3分	1本
②「富富富」レシピ	「富富富」を使ったレシピを動画で紹介	3分	6本
③「富富富」提供飲食店紹介	「富富富」が食べられる店を動画で紹介	3分	10本
④リピーターキャンペーン告知	リピーターキャンペーンへの応募呼びかけ(既存CMを一部活用)	90秒	1本

#### (2) PR動画をモニター等で放映し、PR

イベント等	時 期	使用する動画
・食の王国HP上	10月～3月	上記①～④
・県内小売店舗(100店舗程度) (富富富販売コーナーにモニター設置)	10月～12月	上記①、④ (リピーターキャンペーン後は①②)
・越中とやま食の王国フェスタ秋の陣 (イベント用モニター設置)	10/31～11/1	上記①、④

※動画を見て「富富富」を使った料理の体験レポートや、「富富富」を食べられる店を訪れた感想をSNSで投稿した方の中から、抽選でプレゼントを贈呈  
(「富富富」生産者からも、自慢の「富富富」を発信する投稿を募集)

#### (3) オンラインイベントへのリモート出演

- ・首都圏女子交流イベント(首都圏本部、10月頃)
- ・日本橋とやま館イベント(日本橋とやま館、随時) 等

#### (4) YouTubeでのCM放映

県内、首都圏、中京圏、関西圏の、食に関心の高い方をターゲットに配信(300万回)



# 1 億円産地づくり加速化事業のうち大規模施設園芸整備事業

(当初 298, 200 千円→9 月補正後 342, 924 千円)

農産食品課

## 1 背景・目的

新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、実需者が輸入にんじんから国産へ切り替えることに対応して、産地が安定的な供給を図るための集出荷施設の整備を支援するもの。

## 2 事業内容 (9 月補正分)

- (1) 事業内容 にんじん集出荷施設 (冷蔵施設 225m<sup>2</sup>、選別施設 300m<sup>2</sup>、  
処理能力 200t)
- (2) 事業費 81, 994 千円
- (3) 補助率 国 1 / 2 (37, 270 千円)  
県 1 / 10 (7, 454 千円)
- (4) 国事業名 R2 国補正「国産農畜産物供給力強靱化対策」
- (5) 事業主体 なのはな農業協同組合

## 3 事業費

予算	事業内容	事業費 (千円)	国費 (千円)	県費 (千円)
当初	にんじん選別施設	140, 000	70, 000	—
当初	あんぽ柿共同加工施設整備	379, 000	189, 500	38, 700
9 月補正	にんじん集出荷施設	81, 994	37, 270	7, 454
	計	600, 994	296, 770	46, 154

## 4 事業実施期間

令和 2 年度

# 令和2年度農業用ドローン普及・導入緊急事業

農業技術課

## 1 事業の趣旨

新型コロナウイルスの感染拡大による雇用環境の悪化により、臨時雇用者や外国人労働者等の労働力不足が生じている主穀作経営体を対象として、作業省力化のためのドローンの導入支援を行うもの。

## 2 事業内容

○農業用ドローン導入助成

- ・補助率：県1/2
- ・補助上限：2,500千円（×4経営体）
- ・対象：新型コロナウイルスの感染拡大による雇用環境の悪化により労働力不足が生じている経営体  
※県やJA等が主催するスマート農業の研修会に活用することを条件とする

## 3 予算額

10,000千円（財源：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）

## 4 事業実施により見込まれる効果

①作業の大幅な省力化と軽労化が図られ、労働力不足が解消されること、②ドローンの操作は経験の少ない新規就農者にとっても比較的取り組みやすく、就農者が増加すること、などが期待される。

また、今年度整備を進めているスマート農機の研修を行う「とやまスマート農業拠点施設」を活用することで、さらなるスマート農業技術の普及の加速化にもつなげていく。

# 畜産スマート農業推進事業（9,500千円）

農業技術課

## 1 趣旨

県内で規模拡大による労働力不足が予想される酪農経営において牛の行動が分析できる先端技術を導入し、労働力不足の解消の効果を実証するとともに、今後の酪農経営の担い手となる農業高校の学生に対し、実証を行う生産現場においてスマート農業技術の習得を図る。

- ・新型コロナウイルスの感染拡大に伴う人手不足が深刻化する品目・地域を対象に、強い農業基盤を構築するため、農業高校等と連携し、スマート農業技術の実証を支援するもの
  - ・R2 国補正予算額 1,046 百万円 国直接採択事業（国 10/10）
  - ・全国の採択状況：24 件の研究課題が採択（応募数 35） ※北陸では富山県のみ採択
- ※ 畜産は 5 課題採択（応募数 6、採択状況：北海道 2、広島県 1、鹿児島県 1、富山県 1）

## 2 実証課題名

「加速度センサーを用いた乳牛の行動観察の省力化の実証」

- (1) クラウド牛群管理システムおよび牛向け IoT センサー導入による乳牛の行動観察の省力化
- (2) 農業高校と連携し、酪農スマート農業の実習の場を提供することによる人材育成

## 3 実証グループ名

「富山県酪農スマート農業実証コンソーシアム」

- ・代表機関：富山県（農業技術課、広域普及指導センター）
- ・共同実証機関：県内大規模酪農経営（富山市）  
富山県立中央農業高等学校（富山市東福沢 2）

4 実証期間 令和 2 年 7 月～令和 3 年 3 月

5 予算額 9,500 千円（国 10/10）

## 6 実施内容

- ① 県内大規模酪農経営で飼養する乳牛 220 頭分の加速度センサーとそのセンサーで収集したデータの受信機を整備
- ② 個々の乳牛に加速度センサーを装着させて活動情報（活動・反芻・休憩）を収集・解析し、発情や疾病兆候が検知されれば飼養管理者の携帯電話やスマートフォンへメール通知されるシステムによる乳牛の行動観察の省力化を実証
- ③ また、農業高校と連携し、酪農を学ぶ学生等を対象に、酪農スマート農業の実習の機会として取組みの場を提供

## 7 成果の活用

スマート農業を活用した北陸最大規模の酪農経営モデルとして、県内への普及を図るとともに、農業高校における研修拠点として人材育成を推進する。

# 中山間地域におけるスマート農業推進モデル事業

(農業経営課、農業技術課)

## 1 目的

中山間地域を生産基盤とする認定農業者等を対象にスマート農機の導入を支援することで、農作業の省力化と生産性向上を通じた、経営の規模拡大や複合化などによる中山間地域農業の基盤強化を推進するとともに、遠隔操作が可能な農業機械等の導入により、人との接触機会を極力削減することでウィズコロナ時代への対応を進める。

また、中山間地域をはじめ、県内においてドローン等のスマート農業の普及を図るため、普及指導員自らがドローンの技能講習を受講し、きめ細やかな現地指導ができる体制を整える。

<中山間地域>

・「富山県中山間地域における持続可能な地域社会の形成に関する条例」第2条に規定する山村振興法、半島振興法、特定山村法、過疎地域自立促進特別措置法、棚田地域振興法によって指定された地域のほか、これらに類する地域として知事が定める区域

<対象機械(例)>

・自動操舵システム  
(ハンドルを自動制御し、設定経路を自動走行)  
・田植機(直進アシスト機能付、可変施肥機能付)  
・リモコン草刈機 ・アシストスーツ  
・ドローン ・水管理システム 等

## 2 内容

### (1)スマート農機等導入支援事業(3,000千円)

- |        |   |
|--------|---|
| ①助成対象者 | 中山間地域の認定農業者、認定新規就農者   |
| ②支援内容  | 省力化による生産性向上に資するスマート農業機械・施設等*の導入支援<br>*農林水産省「農業新技術 製品・サービス集」に記載の機械等が対象 |
| ③補助率等  | 標準事業費 : 4,500千円   |

(標準事業費積算)

直進アシスト・可変施肥機能付き田植機 4,500千円

補助率 : 県 1/3、市町村 1/6(任意)

助成経営体数 : 2経営体

### ④採択要件

- ・経営面積10ha以上(但し、土地利用型作物以外の経営体、認定新規就農者の場合を除く)
- ・経営規模の拡大または新規作目の導入等の経営発展に取り組むこと
- ・「とやま農業経営総合サポートセンター」の重点指導農業者に選定され、市町村、農林振興センター等からなる支援チームから継続的支援を受けること
- ・人・農地プランの中心経営体に位置付けられていること
- ・スマート農業の普及に向け、県等が研修会等を開催する場合に導入機械実演などに協力すること

※なお、採択にあたっては、中山間地域における農業のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進するための先駆的な取組みを優先します。

### (2)農業用ドローン普及推進事業(2,000千円)

農業用ドローンの普及に対応するため、普及指導員が農業用ドローンの技能認定証取得に係る経費

- ①対象経費 技能認定証取得経費 250千円×4振興セ×2人=2,000千円

## 3 予算額 5,000千円

※新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用

# オンライン「とやまで農林水産業」就業推進事業

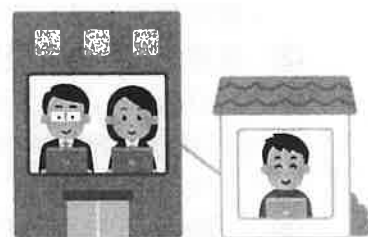
## 1 目的

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、都市部から地方への移住について関心が高まっているが、県外から農林水産業に就業を希望する者において、就業相談する機会が減少している。こうしたなか、県外を中心とした農林水産業への就業希望者が、自宅から安心して就業相談できる環境を整備するとともに、人材を求めている農林漁業経営体や就業地等の情報、富山県の農林水産業での就業の魅力についての発信力を強化することで、「就業地として選ばれる県」を目指すもの。

## 2 内容

### (1) オンライン就業相談の実施（2, 580千円）

オンライン会議システム（Zoom等）を活用し、来県が難しい就業希望者とも顔を合わせながら就業相談を行うことができるように、「とやま就農ナビ」「とやまの林業就業ナビ」及び今回新設する「とやま漁業ナビ（仮）」に、オンライン就業相談の予約フォームや就業意向の登録フォームを設置するもの。



### (2) 求人情報等の発信強化（300千円）

「とやま就農ナビ」に公開される求人情報等が更新された際、あらかじめ登録した就農希望者にメール・LINE等でプッシュ型発信できるようホームページを改修し、就農希望者が手軽かつ継続的に最新情報を入手できるようにすることで、マッチング効率を高めるもの。

### (3) WEBで発信する就業PR動画を制作（3,000千円）

富山県で農林漁業に就業した際のライフスタイル等をイメージできるような動画を制作し、「とやま就農ナビ」「とやまの林業就業ナビ」「とやま漁業ナビ（仮）」上で発信（2分×6本（農林漁各2本））。



（内容）先輩就業者へのインタビュー、1日の作業風景等

### (4) 1 day 就業インターンシップの実施（320千円）

就業希望者が自らの適性等を確認できるよう、希望する業種・経営体等において就業体験研修（1日）を行い、職業としての農林漁業を体験してもらうとともに、速やかなマッチング機会を提供するもの。

## 3 実施主体 公益社団法人富山県農林水産公社

## 4 予算額 6,200千円（国10/10）

※新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金を活用

# 大規模食イベント感染防止対策モデル事業（R2. 9月補正）について

農林水産企画課

## 1 事業の趣旨

新型コロナ感染防止と社会経済活動の両立を図るため、「越中とやま食の王国フェスタ 2020～秋の陣～」を、さまざまな新型コロナ対策を総合的に実践するモデルとして位置づけ、今後の食のイベントの新たなスタイルの確立を図るとともに、情報を各地域のJA等に提供することで、地域の農業祭等を実施する際の参考としてもらう。

## 2 事業内容

R2/10/31(土)・11/1(日) 於：富山産業展示館（テクノホール）

- (1) 事業主体 越中とやま食の王国フェスタ実行委員会  
(2) 補助対象経費 「越中とやま食の王国フェスタ 2020～秋の陣～」開催に要する経費のうち、次のモデル的な取組みに係る経費を対象とする。

### ① 会場（テクノホール）の感染対策に係る経費

- ・入場者の管理（赤外線サーモグラフィ、注意喚起用看板、入場者数管理スタッフの配置 など）
- ・衛生管理体制の確保（消毒液の設置、監視・消毒スタッフの配置 など）
- ・会場内設備の整備（場内動線設備、ブースのビニールシート設置 など）
- ・屋外飲食スペースの確保（テント、テーブル等の設置）

### ② 生産者等への支援に係る経費

- ・YouTubeによるライブ中継（商品PR、ネット販売方法の紹介など、イベント性を維持）
- ・「県産食材お弁当マルシェ」の開催（テイクアウト弁当の普及による県産食材の消費拡大・生産者支援）
- ・ネット販売のサポート（非接触型販売チャンネルの普及）

### ③ 「MAKE TOYAMA STYLE」の啓発に係る経費

- ・「MAKE TOYAMA STYLE」ロゴのシールを商品、買い物袋に貼付け

### ④ シャトルバスの感染対策に係る経費

- ・感染症対策（飛沫防止パネル・空気清浄機の設置等）済みシャトルバスの運行

### ⑤ 広報・宣伝（イベント参加時の注意）に係る経費

- ・参加時の注意事項等を記載したチラシ・ポスターの作成、新聞広告

- (3) 補助率 10/10（財源：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）

## 3 事業実施により見込まれる効果

- (1) 本県の秋を代表するイベントであるフェスタを開催し、安心して県内外から参加していただけるとともに、県内の農林水産業者への励ましにもつながる。
- (2) フェスタで講じた対策を広く公開することや成功事例の実績を作ることで、自粛ムードが広がるイベントの再開につなげ、ひいては県内経済・産業の活性化を図ることができる。

## 4 予算額 9,280千円

※ この事業の実施に伴い、実行委員会への県負担金（R2当初：9,167千円（一般財源））を、減額（▲5,555千円）

### ★「越中とやま食の王国フェスタ～秋の陣～」(例年)の概要 ※令和2年度で、14回目

- 1 主催者 越中とやま食の王国フェスタ実行委員会（会長 石井知事）  
2 開催期日等 10月下旬又は11月上旬 於：富山産業展示館（テクノホール）  
3 主な催事の内容  
①開会式、②旬の県産野菜、地域の特産品等のPR販売（ホール内での飲食を含む。）、③関係団体の施策等に係る展示、④調理実演等のステージイベント、⑤来場者参加型の体験イベント（調理体験等）、⑥学生による新商品の発表・販売 など  
4 参加者数 約3万1千人（R元年度実績。2日間計）。うち、県外約1,300人（アンケート結果から推計）

## とやま都市農村リモート交流事業(9月補正)

予算額 3,500 千円

農村振興課

コロナ禍においても都市と農村との人的交流を継続するため、リモートによる新たな交流スタイルを創出し、移住・定住の促進を目指す。

### 1 現状、経緯、事業の必要性

- ・新型コロナウイルスの感染拡大により、都市農村交流活動の中止・縮小が余儀なくされている。
- ・一方、都市部の過密化の問題がクローズアップされ、安全・安心な農山漁村への移住・定住志向が一層高まっているほか、在宅勤務やワーケーションといった新たな働き方も生まれ、リモートに対する人々の抵抗感もなくなりつつある。
- ・こうしたなか、参加できなかった人々との交流を継続し、関係人口として確保するとともに、新たな参加者層の拡大を図り、アフターコロナでの移住・定住を促進していく必要がある。

### 2 事業内容

#### ① リモート交流の環境整備(リモート機材の購入 等)

#### ② リモートによる交流事業の実施 等

各種体験メニューや交流会をリモートで行う「オンライン帰農塾」を企画・実施

指導者がリアルタイム映像を通じて実演しながら指導

ものづくり体験は、あらかじめ材料を送付

住民や移住者と参加者が意見交換(地場産品等を事前送付し、食事しながら交流)

#### ③ 田舎暮らしプロモーション映像の制作・発信

・帰農塾等の様子や塾長のメッセージなど田舎暮らしの魅力を盛り込んだ映像を制作

・ホームページやYouTubeでの発信、首都圏等でのフェアでの活用

### 3 事業実施により見込まれる効果

- ・時間と場所を選ばない新たな交流スタイルの創出と、それを地域に浸透させることによる地域の情報発信力の向上
- ・交流事業に参加予定の人々をフォローすることによる関係人口の確保
- ・質の高い映像で田舎暮らしの魅力のアピールすることによる参加者の新規開拓
- ・コロナ禍およびコロナ収束後における移住・定住の促進

# 「富富富」で富山県出身者応援事業

農林水産企画課

## 1 事業の目的

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、帰省の自粛を余儀なくされている県出身の若い世代に「富富富」をお届けし、「富富富」のおいしさを味わってもらうことで、県として応援する。

## 2 事業の内容

### (1) 対象者

acoico メールマガジン登録者、県外在住学生 計 5,503 名

### (2) 送付品

- 「富富富」 2kg 入り 1 袋
- 富山県の特産品（「幸のこわけ」又は「富のおもちかえり」 1 点）
- 知事メッセージ

## 3 実施スケジュール

令和2年4月30日 acoico メールマガ登録者に案内メール  
5月1日 県外在住学生の実家に案内ハガキ発送  
5月1日～ 希望者に「富富富」を順次発送

## 4 事業費

20,000 千円（「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」活用）



## 県内在住の県外出身大学生等への「富富富」等の配付について

農林水産企画課

### 1 事業の目的

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県民には不要不急の外出を自粛するように要請しており、また県内各大学には5月31日までの休業要請を行っている。

これに伴い、県外出身の学生（留学生を含む）の皆さんの中には、大きな影響を受けている方もおられることから、こうした学生の皆さんの生活を少しでも応援するため、「富富富」等を配付するもの。

### 2 事業の内容

(1) 対象学生（県外出身学生） 8,301名

- ・ 富山大学、富山県立大学、高岡法科大学、富山国際大学、富山短期大学、富山福祉短期大学の学部生・大学院生・私費留学生
- ・ 富山高等専門学校4・5年生
- ・ 専門学校

(2) 配付品

- ① 「富富富」(2kg入り1袋)
- ② 富山県の特産品（「幸のこわけ」または「富のおもちかえり」1点）
- ③ 応援メッセージ

(3) 配付方法

各大学等にご協力いただき、配付

### 3 実施スケジュール

令和2年5月中旬～ 大学等から対象学生に「富富富」等の配付の周知  
令和2年5月下旬～ 学生に「富富富」等を順次配付

### 4 事業費

15,000千円（県予備費対応）

